

羽津おうちごはん

児童福祉部会

新しい年を迎えての1月13日(土)おうちごはんはクレープでした。ご飯になるお肉と野菜のクレープと甘いデザートクレープです。昨年、市民センターよりフライパンを買って頂いたため、前回のように破れたり焦げ付いたりする事なく綺麗に焼けました。白い生クリームに赤いイチゴ、黄色の桃、子供達はわくわく楽しそうにクレープに包んでいました。



お忙しい中ご協力いただきましたアンケートは今後のおうちごはんに役立てて行きたいと思っております。有難うございました。次回は3月9日土曜日、花見弁当を予定しています。

羽津学・文化財巡り「水害から立ち直った海山郷土資料館」

羽津郷土史と民俗研究会

前号にてご案内いたしました。まだ空きがありますので募集継続中です。

【催行日時】2月10日(土)8:00~16:30

【目的地】紀北町(海山郷土資料館、円通閣観音堂、大昌寺)

【集合場所】JA羽津支店駐車場

【参加費】4,000円

【募集定員】40名。先着順。定員になり次第締め切ります。

【申込先】羽津地区まちづくり推進協議会事務局(市民センター2階)



1月下旬から2月の行事予定

1月21日(日)	シイタケ作りを体験しよう	2月10日(土)	羽津学・文化財巡り
1月22日(月)	バランスボールde産後骨盤ケア		女子力アップ講座・落語公演
1月23日(火)	親子ヨガ教室		無料塾
1月26日(金)	さんきゅう食堂	2月11日(日)	ベビーマッサージ教室
	子供食堂「&ゆう」	2月13日(火)	マタニティヨガ教室
1月27日(土)	無料塾	2月16日(金)	さんきゅう食堂
1月28日(日)	額突山市民緑地整備	2月18日(日)	竹あかり制作会
	障害者わくわくワークショップ	2月20日(火)	バレトン教室
2月 2日(金)	竹あかり制作(羽津北小学校)	2月21日(水)	羽津保育園いのちの授業
	さんきゅう食堂	2月23日(金)	子供食堂「&ゆう」感謝祭
2月 3日(土)	ヤマザクラ植樹祭	2月24日(土)	無料塾
2月 6日(火)	竹あかり制作(羽津小学校)	2月26日(月)	バランスボールde産後骨盤ケア
2月 9日(金)	さんきゅう食堂	2月27日(火)	親子ヨガ教室
	子供食堂「&ゆう」	3月 2日(土)	竹あかり制作会

編集後記

この年末年始は、はやぶさ2四日市タッチダウンの準備に追われて天手古舞でした。周りからも心配されながら何とか開催に漕ぎ着け、大きなトラブルもなく終えることができました。羽津の底力を見せられたのではないのでしょうか。携わった皆様、本当にご苦労様でした。 広報委員会より

有料広告

節分祭 2月3日(土)
厄除祭 2月4日(日)

豆まき、福豆つかんで開運招福!!
内「開運受付、その他はご予約下さい」



3日9時半の祭典にて
森市長 来社予定!
ここにゆうどうくん来社予定!



祓之宮
志氏神社

大宮町14-6

TEL059-331-0620



羽津だより

発行者
羽津地区まちづくり推進協議会
広報委員会
広報No.123 令和6年1月発行
E-mail koho@hazu.org

障害者わくわくワークショップ

障害者福祉部会

今年もコロナ禍が終息せず、もちつき大会の開催が難しいため、代替え事業としてワークショップを企画しました。初めての試みですが、是非、ご参加ください。

【開催日時】1月28日(日)10:00~12:00

【開催場所】地区市民センター2階大会議室

【対象者】羽津地区内に住む障害児と保護者

【内容】缶バッジ作り、色紙にデザイン、キーホルダー作り、バルーンアート

【参加費】無料

【参加申込】不要

ヤマザクラ植樹祭

総務委員会・環境部会

1月13日(土)、三重トヨペット(株)からヤマザクラの苗木50本の寄贈を受ける苗木贈呈式を開催いたしました。三重トヨペットの取締役総務部長の中村浩久氏から内田会長に苗木が手渡しされ、その後、双方の代表による植樹が行われました。

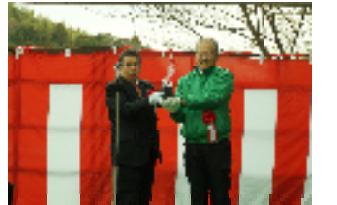
この日に植えたのは4本で、残りは下記の植樹祭にて、植え付けます。植樹にご協力いただける方はご参集ください。

【開催日時】2月3日(土)13:30~15:00

【開催場所】額突山市民緑地

駐車場は四日市北警察署南隣のダイトー地所管理の駐車場を臨時駐車場として借りる予定です。

前号にて苗木のオーナーを募集いたしました。まだ申込枠に達していませんので、受付継続中です。個人のあるいはご家族の記念樹に奮ってご応募ください。



竹あかり制作会

総務委員会・環境部会

3月末に開催する額突山市民緑地祭りにて展示・点灯する竹あかりを制作します。制作した作品は祭り終了後にお持ち帰りいただけます。

【開催日時】2月18日(日)9:00~16:00

3月 2日(土)9:00~16:00

【開催場所】羽津地区市民センター2階大会議室

【参加費】無料

【参加申込】不要

各種団体の皆さんは会場に映える大作づくりに挑戦してください。



子供食堂感謝祭

羽津子供食堂実行委員会

コロナ禍中は開催できなかった感謝祭を3年振りに開催いたします。

【開催日時】2月23日(金・祝)12:00~

【開催場所】さろんde志氏我野

【開催内容】アイシング・クッキーづくり(先着60名)などのお楽しみイベントも用意しています。

ぴよぴよクリスマス会

12月20日(水)、ぴよぴよクリスマス会がありました。今年は、市民センター館長さんの名サンタさんぶりや、スタッフの「こぶた、タヌキ、…」の可愛い(?)仕草に会場が湧きました。プレゼントの手作りブーツに入ったお菓子、気に入ってもらえたかな?ほのぼのとした、少し早いクリスマスがやってきました!

羽津子育て支援ぴよぴよ



はやぶさ2四日市タッチダウンプロジェクト

はやぶさ2実行委員長・森幸司

3年半前コロナ禍で実施できなかった四日市での小惑星探査機はやぶさ2実物大模型の展示をリベンジすべく羽津地区まちづくり推進協議会で準備を進め、この度無事1月6日(土)~8日(月)に四日市港ポートビルで「はやぶさ2四日市タッチダウンプロジェクト」を開催することができました。

はやぶさ2の模型は三重県初、同時に展示する火星衛星探査機MMXは全国初公開となりました。3日間通じての来場は約延べ4,800人と盛況に終了することができました。

7日にははやぶさ2プロジェクトマネージャーのJAXA津田雄一教授をお招きし、これまで関わられてきた宇宙探査や現在進められている将来の宇宙開発に関する講演をいただき、こちらは事前申し込みで2倍以上の倍率となり、地域の方の関心の高さがうかがえました。

今回のイベントでは、「宇宙」と「ものづくり」をテーマとし、最先端の宇宙開発に興味を持って来場していただいたお客さんに、宇宙のものづくりを知り、地域のものづくり産業への関心を持ってもらうことを目的のひとつとし進めてまいりました。具体的な内容として、桑名工業高校の学生主体でのワークショップ4種、三重大学天文サークルによるモバイルプラネタリウム、四日市高校、桑名高校の学生にサポートいただいた3Dプリンター体験、星空キーホルダー製作など実際に手を動かして体験できるワークショップを用意しました。かなり、早い段階で整理券が完売になるなど、興味を持ってもらい楽しさを伝えられたと感じます。

上記に加え、企業からの協力もあり、ミサワホームからは南極越冬隊員自らが講師となり、南極ハウス組み立て体験や一般の有志で構成される人工衛星開発「リーマンサットプロジェクト」の宇宙ポストの企画など、通常の企業展示に加え、参加者が主体的に参加できるものもあり、企業目線でのものづくりの魅力、技術力をアピールできたのではないかと考えております。

今回のイベントを通じ、宇宙に興味を持ち自ら探求する子供が増える、さらにもものづくり意識の醸成につながり、将来の地域ものづくり産業の振興の一端になれば、主催者としても幸甚です。

今回はこれまでにない規模で開催するイベントとなりましたが、皆様のおかげでようやく「地上の星のまち四日市」にははやぶさ2をタッチダウンさせることができました。関係者皆様の多大なご協力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



女子カアップ講座

女性委員会

1月14日(日)女性委員会では、1月の恒例行事であるDVD鑑賞会を開催しました。今回は是枝裕和監督、脚本の「歩いて歩いても」。出演者は、阿部寛、樹木希林、夏川結衣など。年老いた両親の元に久しぶりに集まった家族一同が、何気ない団らんの時を過ごす中で織り成す人間模様を、時にユーモラスに、また、時には辛辣な毒も盛り込みながら描かれた作品です。「家族について考えさせられるいい内容でしたねー」との声が聞かれました。参加者は20名、その中にはセンターの階段に設置してある椅子式エレベーターを利用された方や、男性の方もみえました。スタッフにとっては、嬉しい限りです。

今回は2月10日(土)午後1時30分から、羽津町・光明寺さんにて落語公演を予定しております。こちらも楽しい会になると思いますので、ぜひご参加ください。

羽津の団体紹介

保護司会の活動について

保護司会・瀬川岳彦

羽津地区保護司会は現在5名で構成されていますが、四日市市全域(四日市保護司会)では約100名の保護司が活動をしています。市内を複数のブロックに分けて活動する場合もあり、羽津地区は北部ブロックに属しています。主な活動としては、保護観察対象者との面談などを通じて、生活状況や就労状況を把握し、安定した社会生活を送ることができるようサポートを行っています。また、矯正施設から社会復帰をした際に、スムーズに日常生活を過ごせるよう、退所(退院)後の帰住先の調整や引受ける方との話し合いなどを行っています。また、保護観察所や四日市保護司会、北部ブロックが開催する各種研修会などを通じて、関係法令の勉強や事例を通じた知識向上などにも取り組んでいます。地区においても、羽津地区更生保護女性の会との連携、盆踊りなどの行事における啓発活動、学校との情報交換、すこやか会議への出席など地域の皆さんとの交流なども積極的に行っています。保護司の役割は、非行をした人の更生や社会復帰のサポートだけでなく、地域の皆さんとの連携や交流を通じた犯罪予防や啓発活動など多岐にわたります。

私自身、保護司になって今年で4年目ですが、活動を通じて多くの学びがあり、先輩保護司、地域の皆さん、学校の先生方などたくさんの出会いがありました。この学びや出会いが、人としての成長につながっていると実感しています。本当にありがとうございます。

これからもすべての人が住みやすい地域になるよう活動をして参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

まち協役員リレー随筆

『もったいない』からはじめよう!

副会長&書記・宮本正則

まずは能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。地元のまちづくり協議会の方々が自身も被災されている中、ボランティア活動をされている姿に心を動かされると同時に、日ごろから災害への備えを自分のこととして考えることの重要性、さらに地域の学校や施設を使いこなし防災対策への重要性について改めて考えさせられる機会となりました。

さて、羽津地区まちづくり推進協議会が主催した『はやぶさ2四日市タッチダウンプロジェクト』ですが、1月6日~8日の3日間で、延べ4,800の方が来場され、大盛況のうちに終えることができました。たくさんの企業さんや各種団体さん、ボランティアのみなさんのおかげで実現することができました。本当にありがとうございました。

ところで、このイベントの準備をする中で感じたことがありました。それは『もったいない』です。じゃあ、何が『もったいない』のか? それは、『羽津地区の行事』です。企業の方や他の地域の方と話をすると、ほとんどの方が興味や関心を持って話を聞いてくれ、たくさんの質問をされます。そして、四日市市がやってもおかしくないことを一地域で行っていると驚かれます。実はそんな魅力が羽津地区にはあるのです。

しかし、せっかくの行事も、羽津地区の方にその魅力がしっかり伝わっておらず、関心を持ってもらえるものでなかったとしたら、それはあまりに残念で『もったいない』ように感じます。

行事ありきではなく、何のために行う行事なのか、誰のために行う行事なのかといった目的をはっきりさせると同時に、その行事に興味や関心を持ってもらえるよう魅力を丁寧に発信することで、ボランティアの方が気軽に参加できる環境づくり、そして楽しく続けて活動できる環境づくりをしていくことが必要に感じました。

『はやぶさ2タッチダウンプロジェクト』は、羽津地区に住む一人の声からはじまりました。あなたの声で、一緒に『もったいない』を無くしていきませんか?

有料広告

素敵な1年に~

パン工房 Blooming

目替わりピザ 明太フランス

火~金・第2.4土曜日
Tel 331-3371 9:00~17:30